

ご利用下さい

# BOOK

女性政策推進室では、大分市内に居住、または、勤務している方に、男女共同参画に関する図書、学習用ビデオを無料で貸出ししています。学習会、職場研修などにご利用ください。

男が女を、そして女が男を理解するのは難しい。本来は両者の距離をもっと縮めなければならぬのに、現状ではお互いを排斥する関係から必ずしも抜けきっていない。新時代はどうしたら、男女がお互いに自然な力たちで関わる事ができるのかをテーマに追求している。

この本は、人生の半後に向かう女性へのメッセージ、同じ道程を歩む男性へのラブ・コール。女の一生が変わり、意識が変わったことを男性は視野に入れて、人生の設計を見直し、新しいパートナーシップを作ろうと呼びかけている。



一人ひとりが自分の問題に気づき、人とつながって豊かな人間関係を築きながら、問題を乗り越える力をつけていくことについて、全国各地の女性たちの学習や活動を掲載している。

## 編集後記

「取る」と「重ねる」。ひどいになると「くう」。これすべて「年を」という言葉に続くもの。

フランスでは、女性が美しく年を重ねるというのに対し、日本はまだ（あくまでも、まだだと思いたい）、女性が年を取る、ひどい人になると年を食う。といい、キャリアを積んだ社会的に素晴らしい自立している女性のことをお局、ハイミスと呼びます。医学上、しょうがないのかもしれませんが、「丸高」という言葉もなんとなく野暮な感じ。医者が言う分には仕方ないけれど、近所の人まで言うことはない。一方、男性が一人で夕食の買い物をしている姿は、素直でこそあれ同情するのは、お門違い。「男女共同参画社会」という言葉の裏に見え隠れする重要なキーワードは「思いやり」なのだ、最近特に、感じるようになりました。「思いやり」は万国共通。

未来の国際人を育てたい方も、21世紀の波に乗りたくない方も、「いつも心に思いやりを」というのはいかがでしょう（私もそうありがたいものです）。

2001年春吉日。

編集 岩崎理絵 田辺 薫  
加来甫子 早田 ス仁子  
首藤京子 田辺 悦子

女性政策推進室  
TEL534-6111 内線1075  
FAX536-4044



## グループさん紹介

### ★内容

元サラサラ本舗という劇団でお芝居をしていた5人の老女がグループハウスを作った仲間が歌っている。ある日、主人公の暮らしている家が、主人公の歌うのがん宣告を受け余命いくばくもない事が分かる。家族とのかわりや介護保険の話など折りませながら、どう生きてどう死ぬかを表現。最後は舞台の上で死にたいと願う



### 「たそがれて今Ubaざかり」再上演!

「サラサラ本舗」は女性閉鎖グループ「辺境の会」の有志でオリジナルの芝居をやりたいと結成。会員の中で実際におばさまががんの宣告を受け、直面する死に對し明るく前向きで兇事を死に様に立ち会ったという体験をもとに舞台化したもの。

題名「たそがれて今Ubaざかり」  
2000年10月27日(金)  
コンパルホールにて上演

歌子のために劇中劇で生前葬を。音楽はピアノ生演奏。オリジナル曲「サラハウスの唄」やダンスも披露。2001年3月27日(火)午後7時より「野津町中央公民館」で再演。これからも、「輝く生き方」をテーマとした芝居づくりをめざしていきたい。「サラサラ本舗」代表 篠原 朋子  
電話 54113236

## 掲示板

この「ドゥマーン」を現在多くの方々に読んでいただくために、市の公共機関や企業、病院、PTA関係者等に配布しています。さらに広く情報提供するため配布場所の拡大をしていますので、置いていただける方、ご連絡下さい。また、「こんな場所に置いて!!」の声もお寄せ下さい。